

島根県の地震

令和8（2026）年5月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

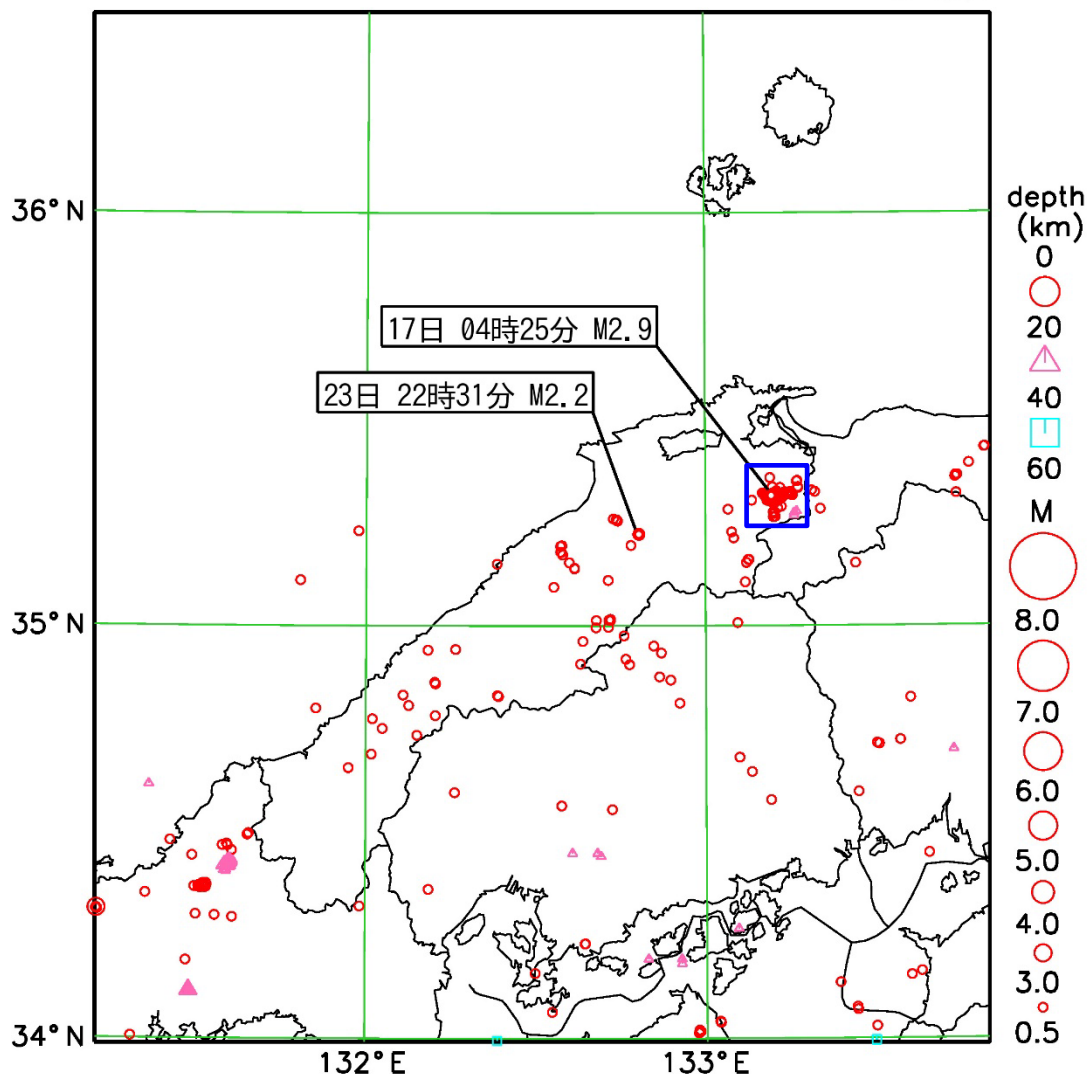
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2026年5月1日～31日

2026 05 01 00:00 -- 2026 05 31 24:00

N=391



[概況] 今期間、M0.5以上を観測した地震は391回（4月は402回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、3回でした。

2日18時28分 和歌山県南部の地震（深さ65km、M5.8：地図範囲外）により、安来市で震度2を観測したほか、松江市・出雲市・雲南市・奥出雲町・益田市・大田市で震度1を観測しました。また、三重県・奈良県・和歌山県で震度4を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

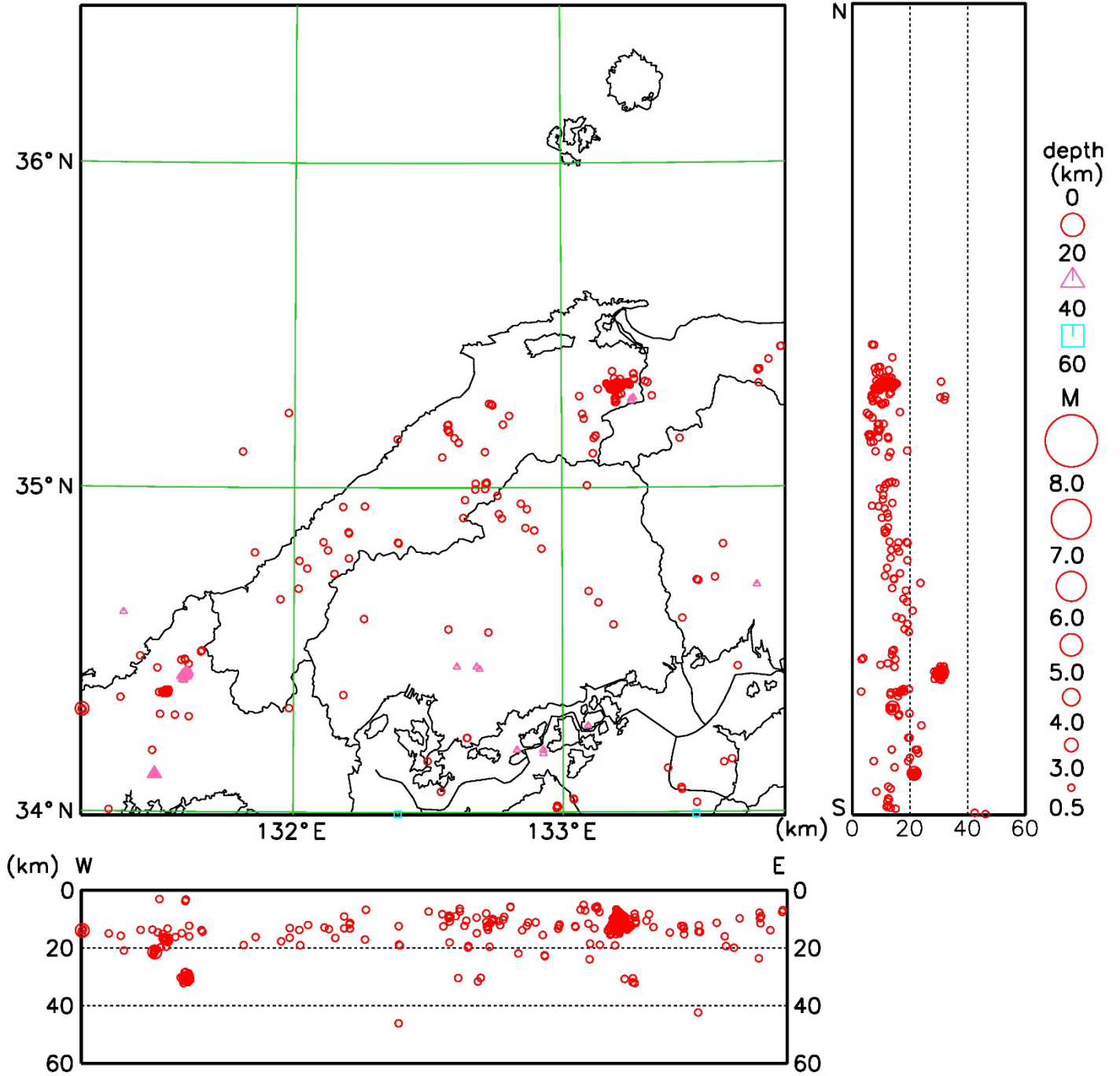
17日04時25分 島根県東部の地震（深さ14km、M2.9）により、安来市で震度1を観測しました。

23日22時31分 島根県東部の地震（深さ6km、M2.2）により、雲南市で震度1を観測しました。

なお、1月6日10時18分の「島根県東部の地震（M6.4、最大震度5強）」の震央付近（震央分布図青枠内）では、震度1以上の地震回数は減少してきているものの、地震発生前より地震が多い状況が続いています。

[断面图]

2026 05 01 00:00 -- 2026 05 31 24:00



5月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026年05月02日18時28分	和歌山県南部	34° 03.7' N	135° 33.4' E	65km	M5.8
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2：安来市安来町＊ 震度 1：松江市鹿島町佐陀本郷＊，出雲市今市町，出雲市湖陵町二部＊，出雲市斐川町上庄原＊ 出雲市平田町＊，安来市伯太町東母里＊，雲南市三刀屋町三刀屋＊ 雲南市木次町里方＊，奥出雲町三成＊，益田市常盤町＊，大田市仁摩町仁万＊ 大田市大田町＊				

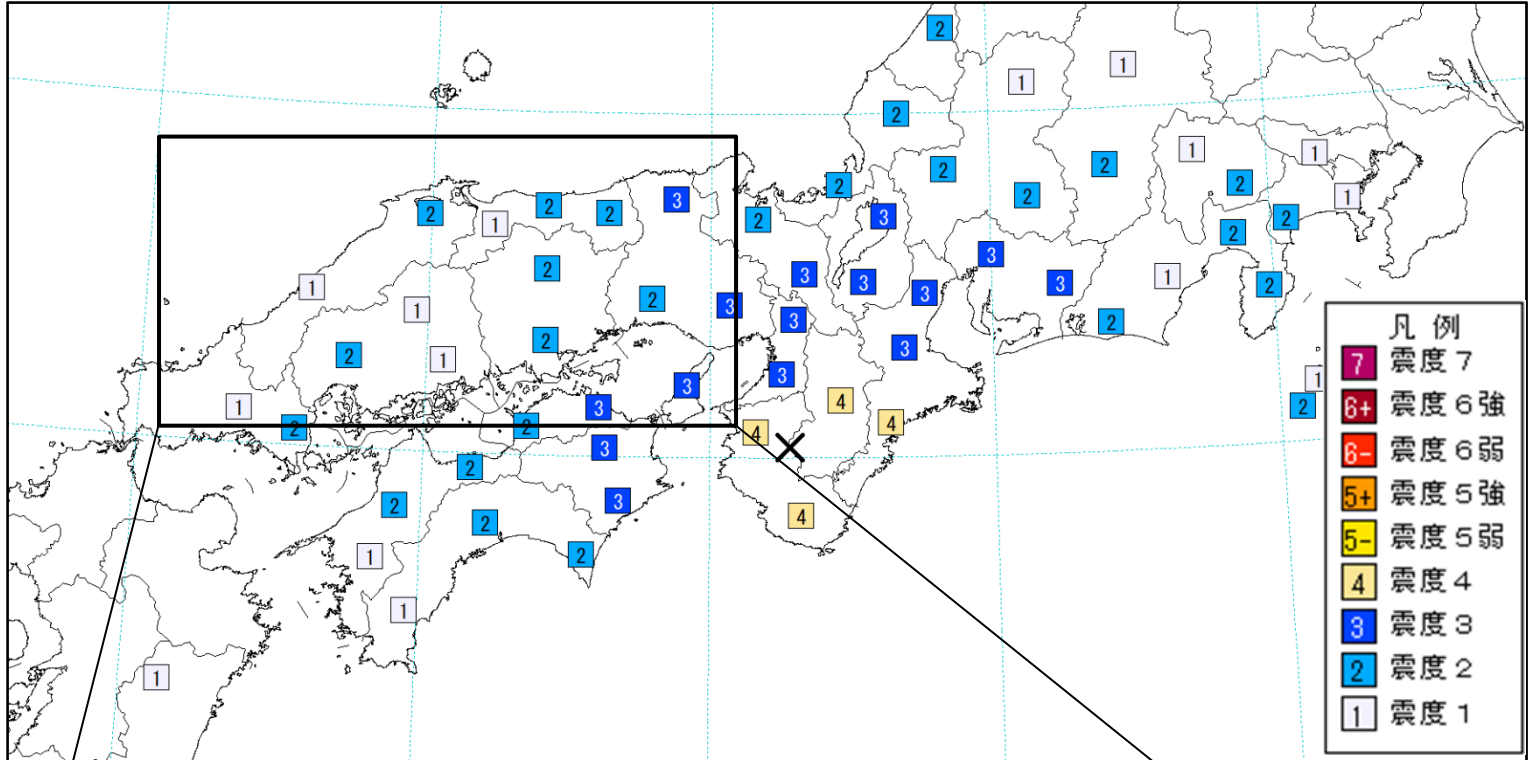
2026年05月17日04時25分	島根県東部	35° 18.8' N	133° 11.6' E	14km	M2.9
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1：安来市伯太町東母里＊				

2026年05月23日22時31分	島根県東部	35° 13.3' N	132° 48.2' E	6km	M2.2
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 1：雲南市掛合町掛合＊				

・地点名の後に＊がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【地域震度分布図】

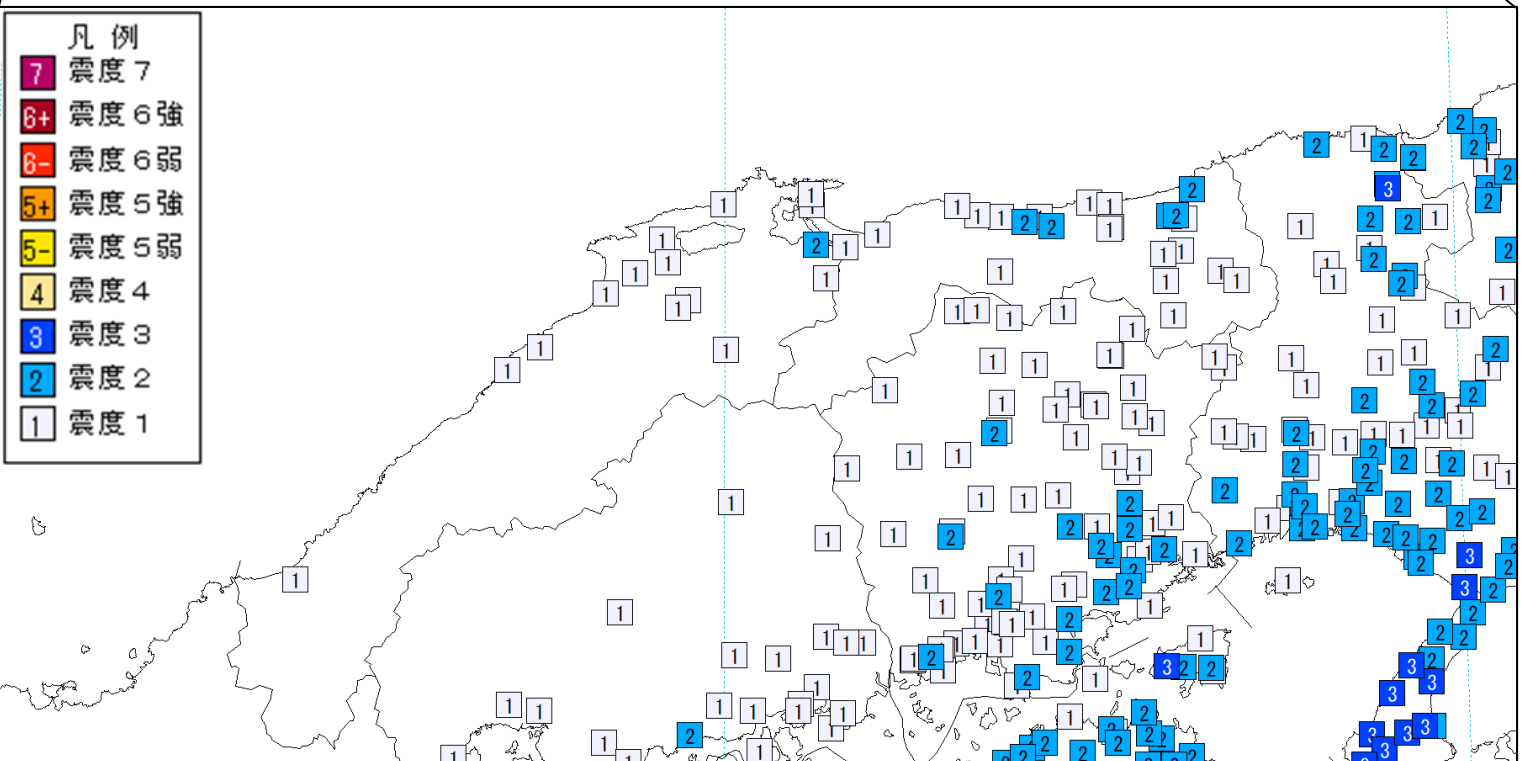
2026年5月2日18時28分 和歌山県南部



×印は震央を示す

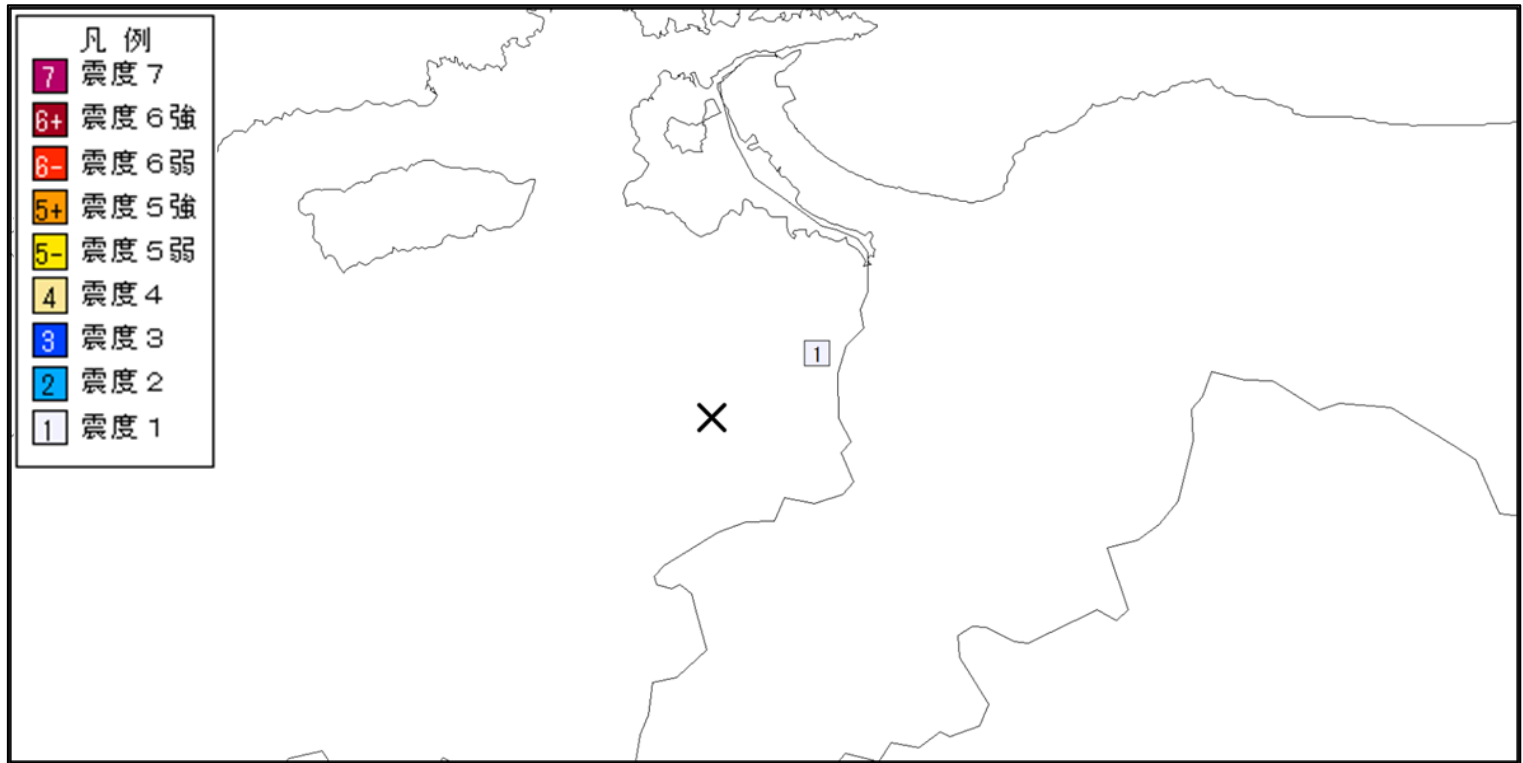
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



【観測点震度分布図】

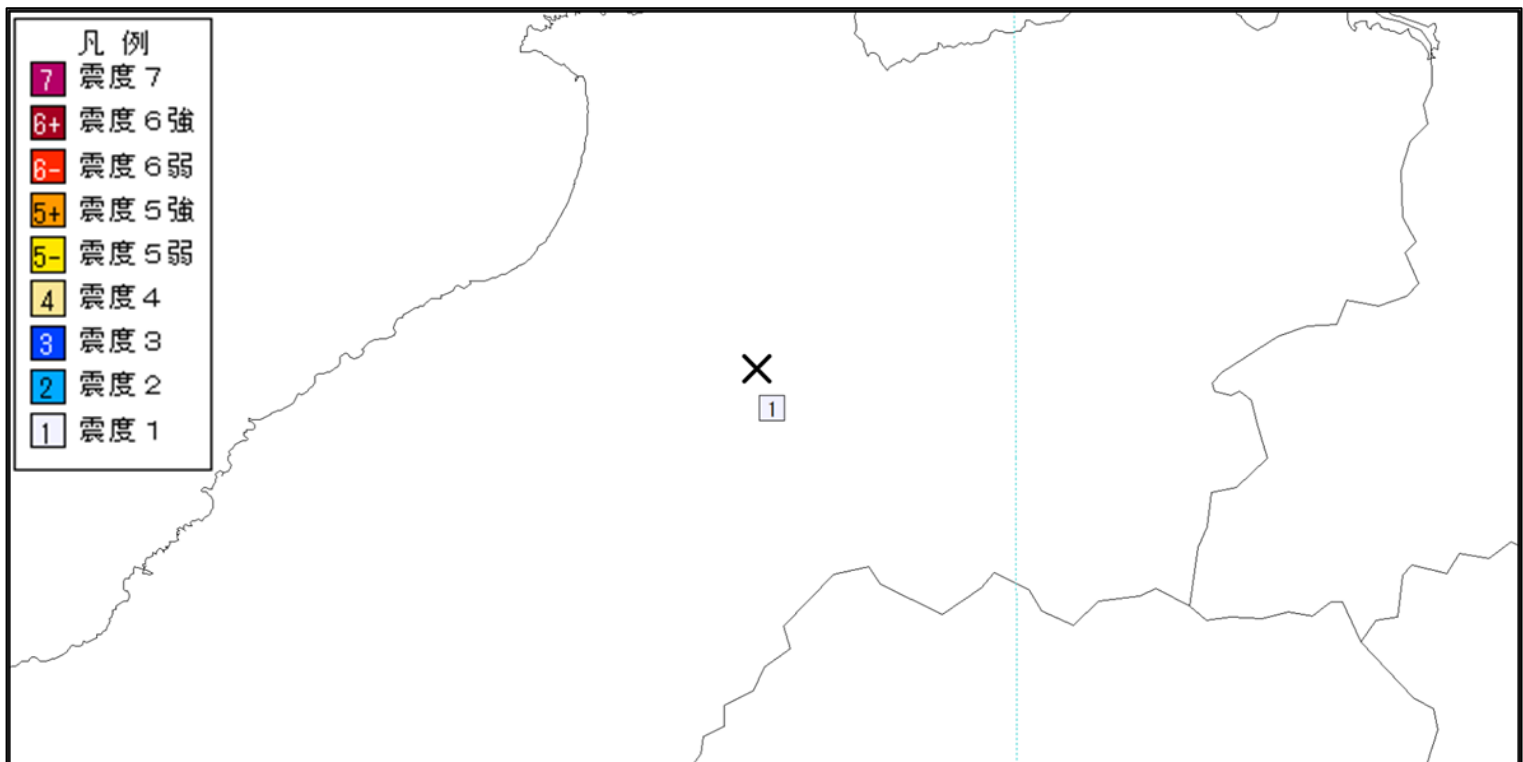
2026年5月17日04時25分 島根県東部



×印は震央を示す

【観測点震度分布図】

2026年5月23日22時31分 島根県東部



×印は震央を示す

地震一口メモ

緊急地震速報訓練動画について

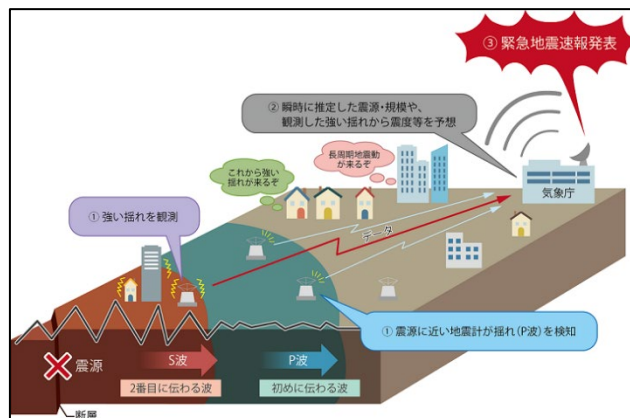
気象庁では、緊急地震速報を国民の皆さまに有効に利活用していただくため、緊急地震速報をスマートフォンで受信する場面を想定した約1分の「緊急地震速報訓練動画」を作成しホームページに公開しています。今回はこの動画について紹介します。

・緊急地震速報訓練動画：

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kit1.html>

○そもそも緊急地震速報とは？

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模(マグニチュード)を直ちに推定し、これに基づいて各地での強い揺れの到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる情報です(右図)。緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度です。



○緊急地震速報訓練動画を使った訓練

0:00～
訓練開始

0:14～
カウントダウン

0:20～
緊急地震速報
(ブザー音※)

0:33～
地震による
揺れ(効果音)

0:42～
安全確認

※スマートフォンなどで緊急地震速報を受信したときの音が鳴ります。

<例：ご自宅で訓練を行う方法>

- ①気象庁ホームページに掲載している「緊急地震速報訓練動画」を再生します。訓練動画の流れは上図の通りで約1分間の動画となっています。
- ②緊急地震速報のブザー音が流れたら、丈夫な机の下など手近で安全な場所に避難する、大声で周りの人たちに知らせるなど、その場で身を守る行動を取りましょう。
- ③訓練後は、各自それぞれが取った行動について話し合ってみましょう。また、強い揺れに見舞われた場合を想定し、部屋の中の安全な場所の確認を行いましょう。

緊急地震速報を見聞きしたときに、あわてず身の安全を確保するために、毎年2回行われる緊急地震速報の全国的な訓練(例年6月頃と11月頃実施)など、機会を捉えて繰り返し訓練を行いましょう。